

平成 27 年度 事業報告

【総括】

平成 27 年度は、当協会にとって、文字通り歴史的な 1 年間となりました。

RWC2015 イングランド大会において、進出をめざしていたベスト 8 には届かなかったものの、南アフリカに勝利するなど 3 勝 1 敗の戦績を残し、日本国内のみならず世界中にラグビー日本代表の名を知らしめることができました。この結果、RWC2019 日本大会の出場が確定し、代表強化面でも今後の明確な目標を確認することができました。

7 人制においても、リオデジャネイロオリンピックへの出場権を男女とも獲得することができました。我が国では、オリンピック団体球技種目で男女とも出場権を獲得したのは、ラグビー競技のみとなっています。また、RWC2015 イングランド大会の 20 出場国(地域)中、男女ともにリオデジャネイロオリンピックに出場する国は 5 ヶ国のみとなっています。

U20 日本代表は、6 月にイタリアで開催されたワールドラグビー U20 チャンピオンシップ 2015 で 12 チーム中 10 位となり、U20 最高峰であるチャンピオンシップへの残留を確定しました。

また、2015 年 3 月に設立した一般社団法人ジャパンエスアール(JSRA)のもと、参入を決定していたスーパーラグビー(チーム名:ヒト・コミュニケーションズ サンウルブズ)については、2 月 27 日(土)に約 2 万名のお客様を迎えた秩父宮ラグビー場にて、ライオンズとの開幕戦を迎えました。2015 年度中には、更に 1 試合秩父宮ラグビー場にて試合が開催されましたが、収支バランスなど、経営面での課題とともに選手のウェルフェア、現場でのチーム運営等の課題も顕在化し、JSRA としての解決努力とともに、協会としても引き続き協力していきます。

一方、RWC2015 イングランド大会の開催、スーパーラグビーへの参入に伴い、トップリーグ、日本選手権等の日程が大きな影響を受けることとなりました。この点については、チーム・選手への影響等を鑑み、各種大会の意義やあり方を含め、早急に検討することが必要となっています。

財政面においては、RWC2015、オリンピック予選等、代表強化の観点から大幅な支出増となる一方、マーケティング収入については、2016 年度以降に増加が見込めるものの、2015 年度はカバーできず、収支損益が過去最大の約▲4 億円という結果となりました。

主な部門別の概要は以下の通りです。

【強化関連報告】

男子 15 人制日本代表

- ・ ARC 4 勝 0 敗
- ・ PNC 1 勝 3 敗
- ・ RWC2015 3 勝 1 敗
- ・ その他 3 勝 1 敗(ウルグアイ、ジョージア、世界選抜)

女子 15 人制日本代表

- ・ WARC 2 勝(優勝)

U20 日本代表

- ・ ワールドラグビーU20 チャンピオンシップ 1 勝 4 敗(12 チーム中 10 位、チャンピオンシップ残留)

7 人制日本代表

- ・ 男子:ワールドラグビーセブンズシリーズ(2014-2015)15 位となり、(2015-2016)はコアチームより降格
:リオデジャネイロオリンピック アジア予選にて優勝し、出場権獲得
- ・ 女子:ワールドラグビー女子セブンズシリーズ(2015-2016) コアチームに昇格
:リオデジャネイロオリンピック アジア予選にて優勝し、出場権獲得

サンウルブズ

- ・ 日本にて、2 試合開催

【事業関連報告】

- ・ 主な有料試合の入場者数と収支損益は以下のとおり;

事業名	集客数	収支損益
日本代表戦	47,836 人(5 試合)	▲ 0 百万円
トップリーグ	491,715 人(119 試合)	205 百万円
日本選手権	12,727 人(1 試合)	19 百万円
大学選手権	81,374 人(23 試合)	56 百万円
東京セブンズ	13,937 人(1 大会)	▲ 30 百万円
ジャパンセブンズ	2,210 人(1 大会)	▲ 2 百万円

- ・ スポンサー関連

日本代表オフィシャルサプライヤーとして、シチズン様決定

安藤ハザマ様が秩父宮電光掲示板下に広告決定

西武ホールディングス様が大学選手権横幕スポンサーに決定

RWC2015 サモア戦は、19.3%のテレビ視聴率獲得(ラグビー中継史上最高値)